

心の通い合いを読もう（４年）

ごんぎつね

●指導目標

「ごんぎつね」を場面の移り変わりや登場人物の気持ちを想像しながら読み，ごんと兵十の思いが通い合うことのできない悲しさや非情さに共感し，心情を豊かにすることができる。

（１）態 度

場面の移り変わりや登場人物の気持ちを想像しながら読もうとすること。読む
物語の展開をたどりながら，感動の中心を読み取ろうとすること。読む

（２）技 能

- 感動の中心（クライマックス）を読み取ること。読む 書く
- 場面の移り変わりや登場人物の気持ちを想像しながら読むこと。読む 書く
- 場面の様子や表現の優れているところを読み味わうこと。読む

（３）言語事項

- 文脈に即して，語句の意味や語感・言葉の使い方などを理解すること。
- 新出漢字を読むこと

●教材について

（１）児童の実態

技能の習熟度について

- 表現に即して，適切な想像をすること

ア．想像の手がかりになる言葉を的確に捉え，適切な想像をすることができる。…… ８人

イ．想像の手がかりになる言葉の一部に反応しているので，想像が不十分である。…… １６人

ウ．表現に即さない勝手な想像をしている。…… ８人

手がかりになる言葉の一部にだけ反応し，手がかりになる言葉を読み落とし，想像が不十分である児童が多い。よって，手がかりになる言葉を的確に押さえ，想像する技能の指導が必要であるといえる。

（２）習熟度に応じた学習シートの開発

- 感動の中心（クライマックス）をとらえること

♥：感動の中心をとらえる技能が充分ある児童は，学習方法を確認してから自由に記載できるシートで学習する。

◆：感動の中心をとらえる技能が充分ではない児童は，この物語の全体構成を考えながらクライマックスに気づくようにしたシートで学習する。

♠：読むことにも抵抗がある児童は，物語は「紹介・発端・展開・クライマックス・終末」で構成されていることを理解してからクライマックスをとらえられるようにしたシートで学習する。

- 表現に即して想像する技能について

♥：手がかりになる言葉をおさえて適切な想像ができるので，自由に読み，自由に書けるシートで学習する。

◆：手がかりになる言葉を十分におさえることができないので，手がかりになる言葉の一部を読み落としている。よって，課題に即してさらに場面を区切り，想像の手がかりになる言葉にサイドラインを引かせ，そのうえで想像させる。

♠：想像の手がかりになる言葉がおさえられないので，リード文に沿って読んでいき，想像の手がかりになる言葉に反応できるようにする。さらに，その言葉を手がかりに想像させる。

（３）シート選択予想人数（児童数 32 名）

コース名	♥ コース	◆ コース	♠ コース
予想人数	直観 ８人 分析 ５人	直観 １６人 分析 １５人	直観 ８人 分析 １２人

●学習指導計画（全 1 2 時間）

過程と時間	行動的目標	課 題	学習評価
直観読み 第 1 時	第 1 場面の紹介語り（p 7 8 ~ p 7 9 / L 5）を読んで、「ごんぎつね」に興味をもち、物語全体を読もうとする意欲をもつことができる。 ・ひとりぼっちの小ぎつね ・いたずらばかり		
2 時	全文を直観的に読んで、感動した場面をおさえ、次のように書いたり話したりすることができる。 ・つぐないをしようとするごんの気持ちが通じず、兵十が火なわじゅうで打ってしまった場面。 「死をとおしてしか思いを通い合わせることができなかったことに悲しさを感じた。」	全文を読んでいちばん心を打たれたのはどこでしょう。そこで、どんなことを感じましたか。 学習シート シート 1（略）	観点 ・直観的に読んで、感動した場面をおさえ、特に感動したことを書くことができたか。 基準 ・行動的目標による 方法 条件法による自己評価 A ...感動の中心をおさえ、そこに感動したことを書いている。 B ...感動の中心をおさえてはいるが、感動したことが不適切である。 C ...感動の中心がおさえられない。
分析読み 第 3 時	第 1 場面前半（p 7 9 / L 6 ~ p 8 1 / L 5）を読み、場面の情景やごんの気持ちを次の条件に基づいて想像し、書いたり話したりすることができる。 あなの中にしゃがんでいたごんがはい出し、ぬかるみ道を歩いている場面 ・あなの中にしゃがんで ・ほっとして 見つからないように兵十を見ている場面 ・そうっと ・じっとのぞいて	ある秋の雨上がりにあなからはい出し、見つからないように兵十を見ているごんの様子や気持ちはどんなでしょう。 学習シート シート 2（略）	観点 ・課題に即して、ごんの様子や気持ちが想像できたか。 基準 ・行動的目標による 方法 条件法による自己評価 A ...手がかりになる言葉をおさえ、ごんの様子や気持ちを適切に想像することができる。 B ...手がかりになる言葉が不足し、想像も不足している。 C ...手がかりになる言葉がおさえられず、想像が不適切である。
分析読み	第 4 場面（p 8 7 / L 5 ~ p 8 9 / L 3）を読んで、場面の様子や兵十と加助の話を	ぶらぶら遊びに出かけて、二人の話を聞いているごんの様子	観点 ・課題に即して、ごんの様子や気持ちが想像できたか。 基準 ・行動的目標による

み 第 9 時	聞いているごんの気持ちを次の条件に基づいて想像し，書いたり話したりすることができる。 ごんが遊びに出かける場面 ・ぶらぶら遊びに出かけました。 ごんが道の片側にかくれ，話を聞く場面 ・道のかた側にかくれて，じっとしていました。 ごんが二人の後をつけている場面 ・びくっとして ・小さくなって立ち止まりました。 ごんが井戸のそばでしゃがんでいる場面 ・いどのそばでしゃがんでいました。	や気持ちはどんなでしょうか。 学習シート シート7（略）	方法 条件法による自己評価 A ...手がかりになる言葉をおさえ，ごんの様子や気持ちを適切に想像することができる。 B ...手がかりになる言葉が不足し，想像も不足している。 C ...手がかりになる言葉がおさえられず，想像が不適切である。
分 析 読 み 第 1 0 時 （ 本 時 ）	第5場面（p 89 / L 5 ~ p 90 / L 5）を読んで，場面の様子や二人の後について話を聞いていたごんの気持ちを次の条件に基づいて想像し，書いたり話したりすることができる。 ごんが二人を待っていて，ついて行った 場面 ・いどのそばにしゃがんでいました。 ・兵十のかげぼうしをふみふみ行きました ごんが二人の話の続きを聞いている場面 ・「へえ，こいつはつまらないな。」 ・「おれは，ひきあわないなあ。」	兵十と加助のあとをごんはどんな思いでついて行ったのでしょうか。 学習シート シート8（最終ページ参照）	観点 ・課題に即して，ごんの様子や気持ちが想像できたか。 基準 ・行動的目標による 方法 条件法による自己評価 A ...手がかりになる言葉をおさえ，ごんの様子や気持ちを適切に想像することができる。 B ...手がかりになる言葉が不足し，想像も不足している。 C ...手がかりになる言葉がおさえられず，想像が不適切である。
分 析 読 み	第6場面（p 90 / L 7 ~ p 91 / L 15）を読んで，場面の様子や火なわじゅうで撃たれたごんと，真相を知ら	火なわじゅうで打たれるまでのごんの様子や気持ちと，ごんを撃つときの兵十の様子や気持	観点 ・課題に即して，ごんと兵十の様子や気が想像できたか。 基準 ・行動的目標による 方法 条件法による自己評価

第11時	ずにドンと撃った兵十の気持ちを次の条件に基づいて想像し、書いたり話したりすることができる。 ごんがくりを持って行く場面 ・その明くる日も ・こっそり中へ入りました。 兵十がごんを打つ場面 * うなぎをぬすみやがったあのごんぎつねめが * 「ようし。」 ごんが、ばたりと倒れて目をつぶったま まうなずく場面 * くりがかためておいてあるのが目につきました。 * 「おや。」 * びっくりして、ごんに目を落としました * 「おまえだったのか。」 ・ぐったりと目をつぶったまま、うなずきました。 * 火なわじゅうをばたりと、とり落としました。 (・—ごん *—兵十)	ちはどうなんでしょうか。 学習シート シート 9 (略)	A ...手がかりになる言葉をおさえ、ごんと兵十の様子や気持ちを適切に想像することができる。 B ...手がかりになる言葉が不足し、想像も不足している。 C ...手がかりになる言葉がおさえられず、想像が不適切である。
体制読み第12時	全文を体制的に読んで、ごんや兵十の気持ちを味わうとともに、ごんや兵十に対する自分の思いを、次の事項を含めて書いたり話したりすることができる。 ・必死につぐないをしようとするごんの気持ち ・兵十の後悔している気持ち	いちばん心を打たれたことを中心に、感想を書きましょう。 学習シート シート 10 (略)	観点 ・感動したことに対して、感想をもつことができたか。 基準 ・行動的目標による 方法 条件法による自己評価 A ...感動したことをおさえ、ごんと兵十について感想を書いている。 B ...感動したことをおさえられているが、感動が一面的である。 C ...筋について感想をもっている。

● 本時の展開（本時10 / 12）

（ 1 ） 本時の学習範囲 P.89 L.5 ～ P.90 L.5 （ 第 5 場面 ）

（ 2 ） 目 標

ごんが兵十と加助の話の続きを聞いている場面(第 5 場面)を読んで、場面の情景や二人の話を終わりまで聞いたごんの様子や気持ちを、次の言葉に基づいて想像し、話したり書いたりすることができる。

ごんが二人を待っていて、ついて行った場面

- ・ いどのそばにしゃがんでいました。
- ・ 兵十のかげぼうしをふみふみ行きました。

ごんが二人の話の続きを聞いている場面

- ・ 「へえ、こいつはつまらないな。」
- ・ 「おれは、ひきあわないなあ。」

（ 3 ） 学習内容

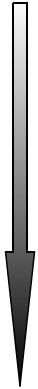
【態度】 場面の移り変わりやごんの気持ちを想像しながら読もうとすること

【技能】 ○ 場面の移り変わりやごんの気持ちを想像しながら読むこと
 ○ 場面の情景や表現の優れているところを読み味わうこと

【言語事項】 ● 文脈に即して、語句の意味や語感・言葉の使い方などを理解すること
 （ かげぼうし・仕わざ・ひきあわない ）
 ● 新出漢字を読むこと

過程	学習内容 （ 態度 ○ 技能 ● 言語事項 ）	学習活動 てだて	□ 留意点 評価の観点
課題 ↓ 方法 ↓ 自己学習 ↓	場面の移り変わりやごんの気持ちを想像しながら読もうとすること ○ 場面の移り変わりやごんの気持ちを想像しながら読むこと ○ 場面の情景や表現の優れているところを読み味わうこと ● 文脈に即して、語句の意味や語感・言葉の使い方などを理解すること	1 . P.89 L.5 ～ P.90 L.5 （ 第 5 場面 ） を直観的に読み、場面の情調(感じ)を おさえる。 2 . 場面の情調(感じ)をもとに、詳しく読む課題を設定する。 兵十と加助の後をごんはどんな思いでついていったのでしょうか。 3 . 課題を解決するための方法を考える。 4 . 3 種類の学習シートを紹介し、自分にあった学習シートを選ぶ。	□ 直観的に読み、場面がかもし出す情調を読み取る。 □ 学習範囲を確認し、話し合いながら、学習課題を設定する。 □ 合わないシートを選ぼうとしている子どもには助言する。（決定は本人）

・かげぼうし ・仕わざ ・ひきあわない ●新出漢字を読むこと 共同学習 一斉学習 自己評価 調節	5．同じ学習シートを選んだものがグループになり，自己学習をする。	5．同じ学習シートを選んだものがグループになり，自己学習をする。	5．同じ学習シートを選んだものがグループになり，自己学習をする。	□ スペードコースは個別指導する。
	♥コース 場面の情景やごんの心情を想像しながら自分の力で自由に読み取り想像したことを書く。	◆コース 場面の情景やごんの心情を想像し，シートにそって想像したことを書く。	♠コース 学習シートのリード文をもとに手がかりになる言葉をおさえ，ごんの心情を想像する。	
	6．グループで自己学習をもとに話し合う。	6．グループで自己学習をもとに話し合う。	6．グループで自己学習をもとに話し合う。	□ 司会などの係はどの子も経験できるように交代で行わせる。 □ 課題からそれないように，必要に応じて「話し合いの仕方」を参考にさせる。 □ 自分の考えと友だちの考えとの相違点や共通点を見いだしながら話し合いに参加させる。
	7．グループの話し合いで不十分なところを補う。 8．グループで話し合ったことを基にして評価基準を設定する (◆・♠コースと同じ)	7．グループの話し合いで不十分なところを補う。 「かげぼうし」「仕わざ」「ひきあわない」の語句の学習をする。 8．グループで話し合ったことを基にして評価基準を設定する A...手がかりになる言葉をおさえ，ごんの様子や気持ちを適切に想像している。 B...手がかりになる言葉が不足し，想像も不足している。 C...手がかりになる言葉がおさえられず，表現に即さない勝手な想像をしている		□ 文脈の中で言葉の意味を理解させる。 評価の観点 場面の移り変わりやごんの様子や気持ちを想像しながら読み取ることができたか。
	9．評価基準に基づいて自己評価(A B C)をする。	9．評価基準に基づいて自己評価(A B C)をする。		□ この評価はまだゴールへの途中であることを確認する。
	10．評価の結果に基づいて学習の	10．評価の結果に基づいて学習のやり直しや深化学習をする。		□ 次の言葉にこめられたごんの気持ちを

 到達		やり直しや深化学習をする。 (◆・♠コースと同じ)	B・C...手がかりになる言葉を確認しながらもう一度教科書を読み直して、シートに書き直す。 A...ごんに語りかけてあげたい言葉を書く。	考えながらもう一度読ませる。 * いどのそばにしゃがんでいました。 * 兵十のかげぼうしをふみふみ行きました。 * 「へえ、こいつはつまらないな。」 * 「おれは、ひきあわないなあ。」 ☐ 消しゴムは使わず、青色の鉛筆などで書かせる。 ☐ ごんに対する言葉をシートに書かせる。(深化)
		11. 学習範囲を読み、ごんが兵十と加助の話の続きを聞いている場面を読み 味わう。		☐ 学習の仕方を振り返らせ、次時への意欲をもたせる。

♥ 「ごんぎつね」 学習シート 8

四年	番	
----	---	--

学習はんし（ ）

課 題	
--------	--

学習方法

1 第五場面を読む。

2 ごんになったつもりで読んで、ごんの様子や気持ちがわかる言葉や文に直線を引く。

3 ごんの気持ちを想像して、ごんの言葉で書く。

《調節》

- ☐ ・ ... もう一度「ごん」になったつもりで第五場面をよく読んでみましょう。
- ☐ ・ ... この場面のごんにどんなことを語りかけてあげたいですか。あなたの言葉で書きましょう。

➡

【学習を振り返って】＊今日の学習の仕方はどうでしたか。

◆ 「ごんぎつね」 学習シート 8

四年	番	
----	---	--

学習はんい（ ）

課 題	
-----	--

学習方法

1 第五場面を読む。

2 「二人を待っていて、ついて行った場面」のごんの様子や気持ちがわかるように直線を引く。

3 その言葉をもとに、ごんの気持ちを想像して、ごんの言葉で書く。

4 「兵十と加助の話の続きを聞いている場面」のごんの様子や気持ちがわかるように直線を引く。

5 その言葉をもとに、ごんの気持ちを想像して、ごんの言葉で書く。

○ 二人を待っていて、ついて行った場面

↓

○ 兵十と加助の話の続きを聞いている場面



↓

《調節》

- ・ ... もう一度「ごん」になったつもりで第五場面をよく読んでみましょう。
- ... この場面のごんにどんなことを語りかけてあげたいですか。あなたの言葉で書きましょう。

【学習をふり返って】＊今日の学習の仕方はどうでしたか。

